

ネパール経済ニュース（16年11月）ヘッドライン

経 済	
産業 エネルギー	<p>(1) 8日、ダハール首相は、アッパー・タマコシ水力発電プロジェクトを6カ月以内に完成させれば、建設業者従業員に対して、特別報酬を支払うと発言した。</p> <p>(2) 8日、インドのコンサルタント会社である SM Consultant は、10月17日にインド石油公社（IOC）に対して、アムレクガンジ・ラクソール間パイプライン建設に関する詳細設計レポート（DER）を提出しており、現在、IOCは同レポートを精査している。</p> <p>(3) 13日、ネパール石油公社のスポークスマンであるバヌ・バクタ・カナルによると、アムレクガンジ・ラクソール間パイプライン建設は来年2月に開始の見込み。</p> <p>(4) 15日、ネパール航空は、中国との合意に基づき、MA60（1機）及びY12E（3機）の購入を決定した。第一段階として、ネパールは既に、MA60（1機）及びY12E（1機）を購入しているが、高額な維持費が問題となっている。</p> <p>(5) 18日、アルンⅢ水力発電プロジェクトの建設予定地に住んでいる269世帯の住民への補償に関して、126世帯への補償の支払いが終わった。</p> <p>(6) 25日、China Gezhouba Group が請け負っているトリスリⅢA水力発電プロジェクトは、昨年の地震以降、工事が中断していたが、間もなく再開される見込み。</p> <p>(7) 26日、ブディガンダキ水力発電プロジェクトの建設予定地の住民は、ネパール政府が提示した補償額が十分ではないとして、抗議活動を行った。</p> <p>(8) 29日、ネパール、インド両国はパンチェシュワル多目的プロジェクトの詳細レポートを来年2月までに完成させることで合意した。</p> <p>(9) 29日、ネパールにおけるインドの開発プロジェクトについて話し合う「協議メカニズム」が実施され、両国の代表は、二国間鉄道、アッパーカルナリ水力発電プロジェクト、アルンⅢ水力発電プロジェクト、郵便道路などのプロジェクトを早期に実施することで合意。</p>
金融 財政 税制	<p>(1) 9日、インド政府が旧500ルピー札と旧1000ルピー札の使用を禁止したことを受け、ネパール中央銀行は、ネパール国内においてインドの旧500ルピー札と旧1000ルピー札の使用及び両替を禁止した。インドの紙幣が流通している国境付近の住民、貿易業者などに影響が出ている。</p> <p>(2) 14日、ダハール首相は、インド・モディ首相に対して、ネパール国内に流通している旧500ルピー札と旧1000ルピー札を両替できるよ</p>

	<p>うに働きかけた。</p> <p>(3) 26日、A I I Bは、ネパールにおける送電システムの拡大・改良プロジェクト及びタライ地域の6つの都市におけるインフラ関連のプロジェクトへの融資に対して前向きである。</p> <p>(4) 29日、インドは、ネパールから輸入されるショウガに対して、新たに8%課税(permit duty)する決定をした。</p>
雇用 物価	<p>(1) 7日、労働・雇用省によると、2016-2017年度当初3ヶ月における、海外出稼ぎ労働者の出国数が、前年同月比マイナス16%であった。マレーシアへの海外出稼ぎ労働者の減少が主な原因。</p>
貿易 投資 観光	<p>(1) 6日、ネパール商工会議所(NCC)とマレーシア全国商工会議所(NCCIM)は、二国間の貿易と投資を促進することで合意した。</p> <p>(2) 8日、ネパール産業連盟(CNI)は、ネパール・中国・インド間の投資に関するプログラムを開催し、ポウデル駐中国ネパール大使とウパダエ駐インド・ネパール大使が出席した。</p> <p>(3) 9日、中国南方航空は、昨年の地震と国境封鎖のため、ネパールへの就航を今年8月まで一時中断していたが、10月30日からは、1日2便就航させている。</p> <p>(4) 10日、観光警察によると、ヒマラヤ山脈のアンナプルナ周辺のガンドゥルック・ゴレパニ・プーン間トレッキングルートへの観光客の半数以上は中国人である。9月半ばから10月半ばに、同ルートを訪れた約7000人中、約4000人が中国人。</p> <p>(5) 15日、ネパール商業省のサインジュ局長をはじめネパール政府関係者は、中国側と本年3月のオリ首相(当時)訪中時の「通行・交通に関する合意」の詳細取り決めについて、ラサで協議した。</p> <p>(6) 22日、チベット航空が、中国・ネパール間の国際便就航の計画をしている。</p> <p>(7) 23日、上記サインジュ局長によれば、ラサで行われた「通行・交通に関する合意」の詳細取り決めの協議に関して、ネパールが第三国との貿易に使う港として、天津港の名前が挙がった。</p> <p>(8) 28日、中国スマホ・メーカーであるZTEの営業部長がネパールを訪問し、ネパールにおけるスマホのマーケット・シェアの7~8%を獲得することを目標にする旨述べた。</p>
地域経済	<p>(1) 4日、ゴウタム・ブッダ国際空港建設に関して、近隣の川からの砂利の採取が再度許可されたことにより、2018年6月までの同空港建設の完成が見込まれる。</p> <p>(2) 28日、中国がラスワガディ国境ポイントからケルンまでの道路改修工事をしている。</p>